

# 東北地方 1か月予報

(1月29日から2月28日までの天候見通し)

平成17年1月28日  
仙台管区気象台発表

## <特に注意を要する事項>

東北地方は、1週目強い冬型の気圧配置となり、東北日本海側や東北太平洋側の山沿いを中心に、荒れた天気や大雪となるおそれがあります。

## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置の日が続き、1週目を中心に強い寒気が南下するでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は平年並か低い、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は低い、2週目は平年並、3~4週目は平年並か低いでしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>

[気温] 東北地方



[降水量] 東北地方



[日照時間] 東北地方



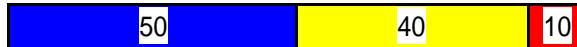
[降雪量] 東北日本海側



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>

[1週目] 東北地方



[2週目] 東北地方



[3~4週目] 東北地方



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 1月29日(土) ~ 2月28日(月)

1週目 : 1月29日(土) ~ 2月 4日(金)

2週目 : 2月 5日(土) ~ 2月11日(金)

3~4週目 : 2月12日(土) ~ 2月25日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は2月4日

3か月予報: 2月24日(木) 14時00分

暖候期予報: 2月24日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	0.8	58.5	156.8	30	0.2	0.5	1.1
新庄	-1.0	158.9	60.9		-1.7	-1.3	-0.7
若松	-0.4	74.2	105.5	125	-1.1	-0.8	-0.1
深浦	-0.3	83.7	52.2		-1.1	-0.7	0.0
青森	-1.2	127.7	79.3	240	-2.0	-1.6	-0.9
むつ	-1.6	91.7	100.2		-2.2	-2.0	-1.3
八戸	-1.0	56.2	145.7	62	-1.7	-1.4	-0.7
秋田	0.1	99.9	70.3	93	-0.6	-0.3	0.4
盛岡	-1.7	57.4	141.9	62	-2.6	-2.2	-1.3
宮古	0.2	80.7	168.4	44	-0.5	-0.2	0.5
酒田	1.4	125.6	64.3	70	0.8	1.1	1.6
山形	-0.3	74.7	108.4	103	-1.0	-0.6	0.0
仙台	1.7	49.5	167.1	31	0.9	1.3	2.0
石巻	0.8	44.9	180.4		0.0	0.5	1.2
福島	1.7	51.9	160.0	40	1.0	1.4	2.1
白河	0.4	41.4	170.3		-0.3	0.1	0.7
小名浜	3.6	62.2	193.5	0	3.0	3.3	3.9

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.5	79~108	96~104	76~117
東北日本海側	-0.3~+0.5	92~107	91~108	78~118
東北太平洋側	-0.3~+0.6	65~115	99~103	66~120

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.9	-0.7~+0.8	-0.5~+0.7
東北日本海側	-0.6~+0.8	-0.7~+0.9	-0.6~+0.7
東北太平洋側	-0.6~+0.9	-0.6~+0.9	-0.5~+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成17年1月28日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(1月29日~2月28日):

冬型の気圧配置の日が続き、1週目を中心に強い寒気が南下するでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

## 1週目(1月29日~2月4日):

明日(29日)は低気圧の影響で雨や雪の降る所がありますが、30日からは強い寒気が流れ込み強い冬型の気圧配置が続くでしょう。東北日本海側や東北太平洋側の山沿いを中心に、荒れた天気や大雪の恐れがあります。期間の前半は東北太平洋側の沿岸部でも雪の降る所がある見込みです。

平均気温は低いでしょう。

## 2週目(2月5日~2月11日):

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

## 3~4週目(2月12日~2月25日):

冬型の気圧配置の日が続き、一時強い寒気が南下するでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

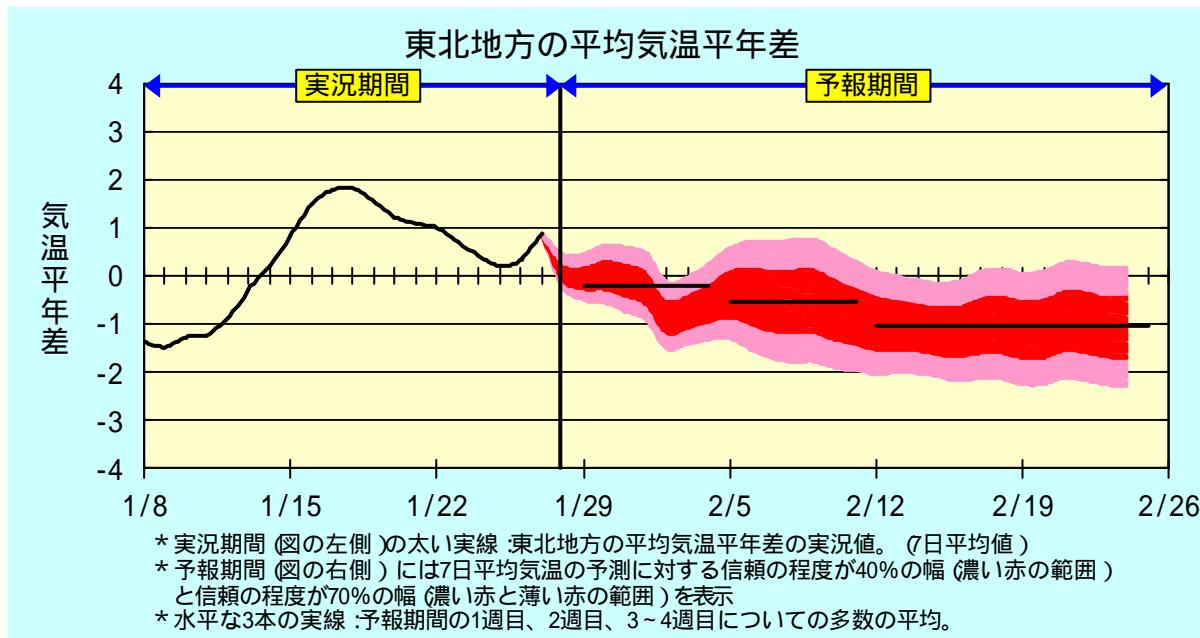
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	6.0日	1.2日	1.4日	3.4日
東北太平洋側	17.9日	4.6日	4.6日	8.7日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目を「平年並」、3~4週目を「低い」と予測している。予報は、その他の資料から1週目を「低い」、3~4週目を「平年並か低い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

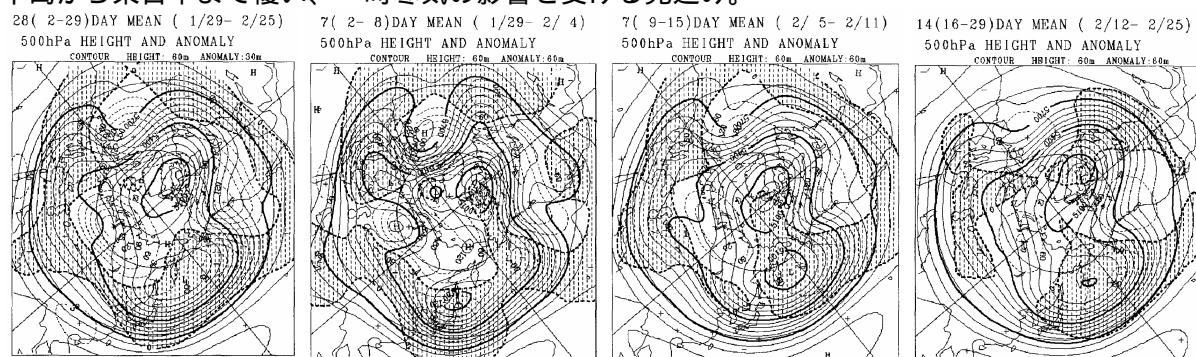


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近は正偏差で、日本付近は日付変更線付近を中心とする負偏差に覆われる。  
極付近の寒気が中緯度に南下しやすい。

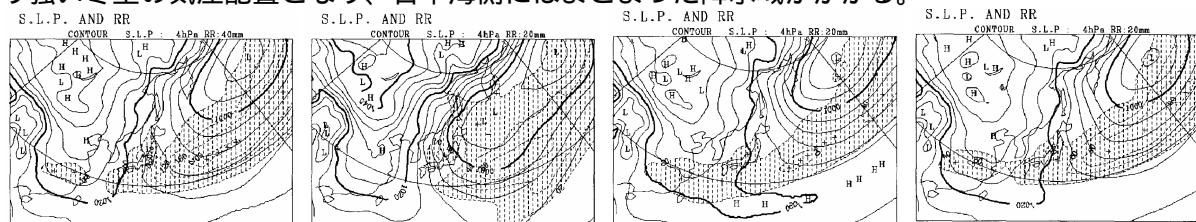
1週目は、日本付近は南ほど強い負偏差に覆われ強い寒気の影響を受ける見込み。2週目は、カムチャツカ半島付近は負偏差だが、日本付近は弱い正偏差。3~4週目は、負偏差がカムチャツカ半島から東日本まで覆い、一時寒気の影響を受ける見込み。



#### 地上気圧と降水量：

月平均は、大陸の高気圧やアリューシャン付近の低気圧が平年より強く、日本付近の冬型の気圧配置は強い。日本海側にまとまった降水域がかかる。

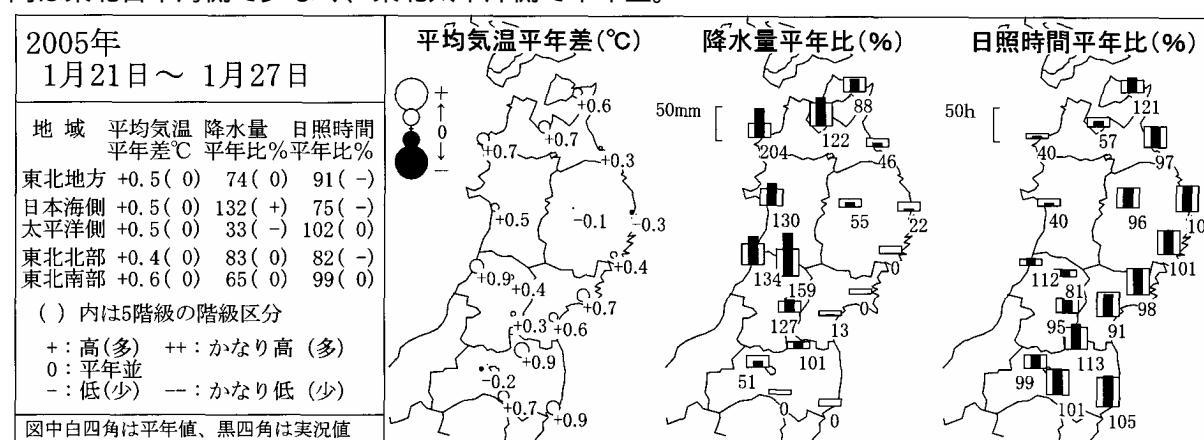
1週目は、アリューシャンから北海道付近まで低圧部で日本付近は強い冬型の気圧配置。2週目は、冬型の気圧配置だが1週目に比べ等圧線の間隔は広く、日本の南海上が低圧部となる。降水域は日本海側だけではなく、太平洋側や日本の南岸にも帶状にかかる。3~4週目は、再び平年より強い冬型の気圧配置となり、日本海側にはまとまった降水域がかかる。



### 4. 最近1週間（1月21日～1月27日）の天候の経過

この期間、冬型の気圧配置となる日が多かったが、移動性高気圧や気圧の谷の影響で一時冬型の気圧配置が緩んだ。このため東北日本海側では雪の日が多く、東北太平洋側では概ね晴れたが、気圧の谷の通過時には雪となる所もあった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）